



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-systems.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 泰博
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土谷 稔 (TEL) 048-845-2200
 定時株主総会開催予定日 2021年6月18日 配当支払開始予定日 2021年6月21日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月21日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	10,588	△2.1	721	△11.5	735	△10.8	393	△25.6
2020年3月期	10,813	3.7	815	5.5	823	5.0	528	3.2

(注) 包括利益 2021年3月期 385百万円(△29.1%) 2020年3月期 543百万円(9.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	266.09	—	7.6	8.1	6.8
2020年3月期	357.49	—	10.8	10.2	7.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	9,445	5,317	56.3	3,593.65
2020年3月期	8,679	5,109	58.9	3,453.34

(参考) 自己資本 2021年3月期 5,317百万円 2020年3月期 5,109百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	563	△474	△358	1,632
2020年3月期	781	△119	△303	1,901

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00	177	33.6	3.6
2021年3月期	—	0.00	—	125.00	125.00	184	47.0	3.5
2022年3月期 (予想)	—	62.50	—	62.50	125.00		37.2	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△5.6	719	△0.3	723	△1.6	497	26.3	336.04

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 一社、除外 一社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	1,480,000株	2020年3月期	1,480,000株
2021年3月期	365株	2020年3月期	365株
2021年3月期	1,479,635株	2020年3月期	1,479,700株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実勢の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については添付資料2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響を受けて、厳しい状況となりました。また、感染拡大の防止策を講じつつ、段階的に社会経済の活動レベルを引き上げていくなかで、一部持ち直しの動きが見られたものの、感染拡大に伴う緊急事態宣言の再発令もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、情報化投資としてAI、IoT及び新型コロナウイルス対応のためのデジタル技術などのICT（情報化通信技術）の利活用が継続する一方で、新型コロナウイルス感染症拡大による情報化投資の抑制・延期などの影響がみられました。

このような事業環境のもと、当社グループは20中期経営計画(2018年度～2020年度)の最終年度として、顧客・社員の安全衛生を確保しながら、基本方針に従って、主要事業の推進に取り組みました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、機器等販売が増収となりましたが、ソフトウェア開発及びシステム販売、システム運用・管理等のセグメントで減収となったため、10,588百万円（前期比2.1%減）となりました。利益につきましては、売上高の減収により営業利益は721百万円（同11.5%減）、経常利益は735百万円（同10.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は393百万円（同25.6%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりとなります。

①機器等販売

前年度のWindows10への情報関連機器の更新需要の反動を受けて、当年度は厳しい状況を想定しておりましたが、子会社のGIGAスクール構想案件も加わり機器販売が増加したことで、売上高は2,735百万円（前期比7.2%増）となりました。セグメント利益は売上高の増加により、224百万円（同21.3%増）となりました。

②ソフトウェア開発

コロナ禍の影響を受けて、顧客の情報化設備投資の見直しがあり、受注の減少や開発案件の中断等で、売上高は2,186百万円（前期比4.2%減）となりました。セグメント利益は売上高は減少したものの、作業効率化等により、405百万円（同7.8%増）となりました。

③システム販売

コロナ禍において画像処理システムや生コン関連、インフラサービス、医療については、顧客の情報化設備投資の見直しで、受注の減少やプロジェクトの延期等により、売上高は2,511百万円（前期比9.7%減）となりました。セグメント利益は売上高の減少により、203百万円（同22.8%減）となりました。

④システム運用・管理等

子会社で前年度上期まで続いた大口顧客のデータセンタ業務が契約満了となり、新たな顧客の獲得を目指しておりましたが、コロナ禍で獲得には至らず、売上高は3,155百万円（前期比1.4%減）となりました。セグメント利益は売上高の減少により、960百万円（同5.1%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.6%増加し、6,397百万円となりました。これは、主に現金及び預金が増加したものの、仕掛品が754百万円、受取手形及び売掛金が335百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、3,048百万円となりました。これは、主に退職給付に係る資産が45百万円、ソフトウェアが40百万円減少したものの、リース資産（有形）が49百万円、無形固定資産その他に含まれるソフトウェア仮勘定が34百万円、投資有価証券が25百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて8.8%増加し、9,445百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて17.6%増加し、3,453百万円となりました。これは、主にその他に含まれる未払金が263百万円減少したものの、買掛金が879百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.6%増加し、674百万円となりました。これは、主にその他に含まれる長期前受収益が54百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて15.7%増加し、4,128百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.1%増加し、5,317百万円となりました。これは、主に利益剰余金が216百万円増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下資金という）は、前連結会計年度に比べ269百万円減少し、当連結会計年度末には1,632百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金の増加は、563百万円（前連結会計年度は781百万円の資金増加）となりました。これは、主に支出で棚卸資産の増加734百万円、売上債権の増加335百万円、法人税等の支払額287百万円があったものの、収入で仕入債務の増加796百万円、税金等調整前当期純利益588百万円、減価償却費441百万円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、474百万円（前連結会計年度は119百万円の資金減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出333百万円、無形固定資産の取得による支出139百万円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、358百万円（前連結会計年度は303百万円の資金減少）となりました。これは、主にリース債務の返済による支出181百万円、配当金の支払額177百万円があったことによります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響等により予断を許さない状況にありますが、現時点ではワクチンの普及による収束が期待され、当社グループが属する情報サービス業界におきましても情報化投資が徐々に回復していくものと考えております。

このような事業環境のもと、当社グループの次期（2022年3月期）の連結業績予想につきましては、機器等販売の特需の反動や収益認識に関する会計基準の影響等により、売上高は当連結会計年度と比べ、5.6%減の10,000百万円、営業利益は同0.3%減の719百万円、経常利益は同1.6%減の723百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同26.3%増の497百万円を見込んでおります。なお、実際の業績は新型コロナウイルス感染症の収束時期等、様々な要因により変動する可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、事業活動が国内に限定されており、企業間の比較可能性等を考慮し、日本基準を適用しております。なお、国際会計基準（IFRS）適用につきましては、国内他社における会計基準の採用状況等を勘案しながら、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,901,805	1,488,914
受取手形及び売掛金	2,756,343	3,091,891
リース投資資産	449,507	470,616
商品及び製品	66,452	57,747
仕掛品	356,809	1,111,582
原材料及び貯蔵品	39,951	27,892
その他	115,448	150,986
貸倒引当金	△2,643	△2,256
流動資産合計	5,683,675	6,397,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,552,662	1,570,175
減価償却累計額	△775,850	△829,011
建物及び構築物(純額)	776,812	741,163
工具、器具及び備品	582,051	622,381
減価償却累計額	△467,476	△493,101
工具、器具及び備品(純額)	114,575	129,280
土地	531,977	531,977
リース資産	721,784	877,724
減価償却累計額	△389,023	△495,142
リース資産(純額)	332,761	382,582
その他	363,402	335,197
減価償却累計額	△206,602	△163,196
その他(純額)	156,800	172,001
有形固定資産合計	1,912,927	1,957,005
無形固定資産		
ソフトウェア	153,285	112,819
リース資産	184,572	179,465
その他	94,494	135,831
無形固定資産合計	432,353	428,116
投資その他の資産		
投資有価証券	224,438	249,572
退職給付に係る資産	235,605	189,827
繰延税金資産	141,059	150,223
その他	56,972	75,911
貸倒引当金	△7,926	△2,438
投資その他の資産合計	650,148	663,097
固定資産合計	2,995,429	3,048,219
資産合計	8,679,104	9,445,595

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,072,370	1,952,189
リース債務	157,063	170,796
未払費用	322,022	255,428
未払法人税等	161,864	80,658
賞与引当金	441,683	462,495
受注損失引当金	360	19,567
アフターコスト引当金	35,846	43,717
その他	745,437	469,053
流動負債合計	2,936,648	3,453,907
固定負債		
リース債務	361,674	345,567
退職給付に係る負債	20,490	20,546
その他	250,608	308,278
固定負債合計	632,772	674,392
負債合計	3,569,420	4,128,300
純資産の部		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	4,013,335	4,229,499
自己株式	△737	△737
株主資本合計	5,030,419	5,246,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,888	124,621
退職給付に係る調整累計額	△25,625	△53,909
その他の包括利益累計額合計	79,263	70,712
純資産合計	5,109,683	5,317,295
負債純資産合計	8,679,104	9,445,595

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	10,813,200	10,588,016
売上原価	8,213,983	8,106,540
売上総利益	2,599,217	2,481,476
販売費及び一般管理費	1,783,528	1,759,888
営業利益	815,689	721,588
営業外収益		
受取利息	23	26
受取配当金	4,591	4,478
受取手数料	1,875	1,835
受取保険料	3,600	6,000
補助金収入	3,092	5,558
その他	2,567	2,520
営業外収益合計	15,750	20,419
営業外費用		
支払利息	2,410	3,091
売上割引	3,680	2,273
支払手数料	945	805
その他	455	584
営業外費用合計	7,491	6,755
経常利益	823,948	735,252
特別利益		
投資有価証券売却益	432	-
特別利益合計	432	-
特別損失		
固定資産除却損	370	3,339
投資有価証券評価損	19,715	-
支払補償金	-	143,124
特別損失合計	20,086	146,464
税金等調整前当期純利益	804,294	588,787
法人税、住民税及び事業税	290,719	197,245
法人税等調整額	△15,403	△2,177
法人税等合計	275,315	195,067
当期純利益	528,978	393,720
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	528,978	393,720

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	528,978	393,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,934	19,732
退職給付に係る調整額	7,623	△28,284
その他の包括利益合計	14,557	△8,551
包括利益	543,536	385,168
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	543,536	385,168
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	777,875	239,946	3,647,125	△462	4,664,484	97,954	△33,248	64,706	4,729,190
当期変動額									
剰余金の配当			△162,768		△162,768			—	△162,768
親会社株主に帰属する 当期純利益			528,978		528,978			—	528,978
自己株式の取得				△275	△275				△275
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						6,934	7,623	14,557	14,557
当期変動額合計	—	—	366,210	△275	365,935	6,934	7,623	14,557	380,492
当期末残高	777,875	239,946	4,013,335	△737	5,030,419	104,888	△25,625	79,263	5,109,683

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	777,875	239,946	4,013,335	△737	5,030,419	104,888	△25,625	79,263	5,109,683
当期変動額									
剰余金の配当			△177,556		△177,556			—	△177,556
親会社株主に帰属する 当期純利益			393,720		393,720			—	393,720
自己株式の取得				—	—				—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						19,732	△28,284	△8,551	△8,551
当期変動額合計	—	—	216,163	—	216,163	19,732	△28,284	△8,551	207,611
当期末残高	777,875	239,946	4,229,499	△737	5,246,583	124,621	△53,909	70,712	5,317,295

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	804,294	588,787
減価償却費	392,117	441,357
賞与引当金の増減額 (△は減少)	55,095	20,811
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	360	19,207
アフターコスト引当金の増減額 (△は減少)	△2,019	7,870
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,128	56
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	14,758	5,105
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,192	△5,875
受取利息及び受取配当金	△4,614	△4,498
支払利息	2,410	3,091
支払補償金	-	143,124
投資有価証券売却損益 (△は益)	△432	-
固定資産除却損	370	3,339
投資有価証券評価損益 (△は益)	19,715	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△356,099	△335,548
たな卸資産の増減額 (△は増加)	43,139	△734,008
リース投資資産の増減額 (△は増加)	△68,437	△21,108
その他の資産の増減額 (△は増加)	△19,421	△40,483
仕入債務の増減額 (△は減少)	216,627	796,213
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,951	△47,460
その他の負債の増減額 (△は減少)	16,969	8,801
小計	1,098,202	848,783
利息及び配当金の受取額	4,614	4,498
利息の支払額	△2,410	△3,091
法人税等の支払額	△318,595	△287,169
法人税等の還付額	7	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	781,819	563,021
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,204	△333,019
無形固定資産の取得による支出	△70,854	△139,390
投資有価証券の売却による収入	672	-
敷金及び保証金の差入による支出	△874	△540
敷金及び保証金の回収による収入	29	18
保険積立金の積立による支出	-	△1,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119,232	△474,122
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△140,402	△181,109
自己株式の取得による支出	△275	-
配当金の支払額	△162,768	△177,556
財務活動によるキャッシュ・フロー	△303,446	△358,665
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	359,140	△269,766
現金及び現金同等物の期首残高	1,542,665	1,901,805
現金及び現金同等物の期末残高	1,901,805	1,632,039

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、情報サービス事業を主な事業としており、その事業内容及び製品・サービス等に基づいて事業を集約した結果、「機器等販売」、「ソフトウェア開発」、「システム販売」及び「システム運用・管理等」の4つを報告セグメントとしております。

「機器等販売」はハードウェア及びソフトウェア等の仕入・販売、「ソフトウェア開発」はアプリケーションシステムの受託開発業務及びERPビジネス、「システム販売」は自社開発システムの販売及びネットワーク構築等のインフラサービス、「システム運用・管理等」はユーザシステムの運用・管理サービス及びデータセンタ業務等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価額に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウ ェア開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,550,826	2,282,593	2,779,500	3,200,280	10,813,200	—	10,813,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,827	1,208	12,561	52,788	69,385	△69,385	—
計	2,553,654	2,283,801	2,792,061	3,253,068	10,882,586	△69,385	10,813,200
セグメント利益	185,208	376,366	264,078	1,012,388	1,838,041	△1,022,351	815,689
その他の項目							
減価償却費	117,875	27,665	69,730	148,285	363,556	28,560	392,117

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,022,351千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 セグメント資産は、事業セグメントに資産を配分しておらず、事業セグメントの減価償却費は一定の基準により配分しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウ ェア開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,735,171	2,186,482	2,511,140	3,155,222	10,588,016	—	10,588,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	506	17,994	16,133	10,586	45,221	△45,221	—
計	2,735,678	2,204,477	2,527,273	3,165,809	10,633,238	△45,221	10,588,016
セグメント利益	224,682	405,696	203,882	960,800	1,795,062	△1,073,474	721,588
その他の項目							
減価償却費	161,868	29,066	53,832	166,570	411,338	30,019	441,357

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,073,474千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 セグメント資産は、事業セグメントに資産を配分しておらず、事業セグメントの減価償却費は一定の基準により配分しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
太平洋セメント株式会社	3,241,223	機器等販売、ソフトウェア開発、システム販売、システム運用・管理等

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
太平洋セメント株式会社	3,157,989	機器等販売、ソフトウェア開発、システム販売、システム運用・管理等

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	3,453.34円	3,593.65円
1株当たり当期純利益金額	357.49円	266.09円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	528,978	393,720
普通株式に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	528,978	393,720
普通株式の期中平均株式数(株)	1,479,700	1,479,635

(重要な後発事象)

該当事項はありません。